

# 会 議 録

## 1 会議名

平成30年度第5回板倉区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 地域活動支援事業のヒアリングについて（公開）
- (2) 地域協議会委員視察研修について（公開）
- (3) 地域活動支援事業の審査について（公開）
- (4) その他（公開）

## 3 開催日時

平成30年7月19日（木） 午後6時00分～午後7時05分

## 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：平井達夫（会長）、小林良一（副会長）、北折佳司、上野きみえ、島田信繁、西田節夫、新井清三、古海誠一、古川政繁、増村眞一、徳永妙子、福崎幸一、長藤豊
- ・ 事 務 局：板倉区総合事務所 米持所長、山崎次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、小山市民生活・福祉グループ長、石川教育・文化グループ長、宮尾産業グループ長、隠田建設グループ長、村山地域振興班長、岩崎主事（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容

### 【山崎次長】

- ・ 地域協議会の開会を宣言

### 【平井達夫会長】

・挨拶

**【米持所長】**

・挨拶

**【平井達夫会長】**

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

次に4協議に移る。(1)地域活動支援事業のヒアリングについて、事務局の説明を求める。

**【嘉鳥総務・地域振興G長】**

事前配布資料として、地域協議会委員へ地域活動支援事業追加募集の提案受付一覧を送付し、地域活動支援事業の審査を依頼した。追加募集したところ、1件、事業費17万9千円、補助希望額17万3千円の提案があり、板倉区の配当額の残額と同額となっている。提案書の内容と提案団体へのヒアリングにより、配当額内となるよう審査をお願いする。

次に採択までのスケジュールについて説明する。本日、提案団体のヒアリング終了後、ただちに事業の採点をお願いする。(2)地域協議会委員視察研修について協議している間に事務局が採点表を集計する。視察研修の協議終了後、集計結果を配布するので、採択すべき事業について協議をお願いする。審査内容については、地域協議会から市へ報告し、その結果をもとに市で採択事業の決定及び公表を行う。

最後にヒアリングについて説明する。まず、提案団体から自己紹介を含め事業概要の説明がある。その後、平井会長の進行により、委員の質問に各団体から回答してもらう。ヒアリングは、説明3分、質疑5分、計8分である。説明終了1分前、説明時間終了、質疑時間終了時にベルを鳴らすので、質問等は簡潔にまとめてもらうようお願いする。

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見等がある委員は挙手を求める。

(意見なし)

無いようなので、これより地域活動支援事業の提案団体へのヒアリングを行う。説明3分、質疑5分、計8分である。

地域の一体感形成事業について、板倉まちづくり振興会から自己紹介、事業概要の説明を求める。

**【板倉まちづくり振興会 担当者】**

・提案書により説明

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見等がある委員は挙手を求める。

**【西田節夫委員】**

平成16年に板倉まちづくり振興会が発足した際、旧板倉町から2,000万円をもらって事業を整理した。その後平成23年にはんてんを40着購入し、今回の提案では150着購入するということである。7年毎に新調しなければならないほど傷みがあるのか。

**【板倉まちづくり振興会 担当者】**

現在約200着あるはんてんは一度に全数を購入したわけではない。平成23年に購入した際の詳細は確認していないが、記録によれば、現在のはんてんを一番初めに購入したのは平成6年だということである。使う度に洗濯していることもあり、黒い襟の部分が変色する等傷んでいる部分が多いため、今回新たなはんてんを作りたい。地域活動支援事業を活用し、今後3年間で150着を購入したいと考えている。

**【西田節夫委員】**

板倉まちづくり振興会には特別会計の財政調整積立金があるはずだが、なぜそこから支出しないのか。

**【板倉まちづくり振興会 担当者】**

会計については、ご存じのように年間100～120万円の赤字経営になっている。板倉まちづくり振興会発足時に旧板倉町からもらった2,000万円は、現在残り約800万円だが、その財源を使用すると赤字が増えることから、財政調整積立金からの支出は考えていない。

**【古川政繁委員】**

団体の内部会計についての質問は今回のヒアリングでの質問としてふさわしくない。まずは、今回の提案内容について精査することが重要である。

私も、板倉まちづくり振興会の役員や町内会長をやった時にはんてんを借りて着た

ことがある。その際、非常に古びたはんてんが割り当てられることがあり、このままではよくないと感じている。

**【徳永妙子委員】**

提案書の中に、今後はイベント時等に地域団体に貸出しを行うとの記載がある。これまでのはんてんは貸出しをしていなかったが、今後は貸出しを行うということか。

**【板倉まちづくり振興会 担当者】**

これまでも個別に要請があれば貸出ししていたが、イベント時等に広く貸出しは行っていなかった。はんてんの更新後は振興会だよりも掲載し、貸出しについてPRを行いたい。

**【平井達夫会長】**

その他、質問・意見等が無いようなので、地域の一体感形成事業については以上とする。提案団体へのヒアリングは終了した。各委員は採点を行い、事務局へ提出をお願いする。

(採点表の回収)

(1) 地域活動支援事業のヒアリングは以上とする。

次に、(2) 地域協議会委員視察研修について事務局の説明を求める。

**【嘉島総務・地域振興G長】**

(資料1により説明)

視察時期及び視察先について協議をお願いする。

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見等がある委員は挙手を求める。

**【小林良一副会長】**

関西地方で大雨が降り、200人という大きな死者が出ている。自分たちが災害にあわないという保証はない。糸魚川市駅北大火も災害のひとつであり、どのように復興を進めたかという実例が身近にあることから、6番の災害復興とまちづくりを視察テーマとしてはどうか。

**【長藤豊委員】**

私も災害復興に関心を持っており、特に復興にとどまらない地域活性化の在り方には興味がある。6番に賛成である。

**【西田節夫委員】**

先月、教育委員会から板倉区の小学校の在り方について説明を受けた。教育委員会による統合実行委員会設置は来年度になってからということだが、その前に4校の小学校から校長先生をはじめとするいろんな方から意見を聞いておきたい。

**【古海誠一委員】**

私も現在の板倉区の最大の課題は小学校の統合だと考えている。地域協議会委員は4小学校の環境や、廃校となった小学校の活用方法について勉強すべきである。そのため、板倉区内の4小学校を視察したい。

**【北折佳司委員】**

板倉区の小学校の統合にあたり、2校は廃校となることが決まっている。具体的なノウハウを現地に見に行くことが勉強になるため、8番の廃校利用を視察テーマとするのがよい。

**【古川政繁委員】**

小学校の統合、災害復興、廃校利用の3つから選ぶのが良いと思うが、私は小学校の統合が一番優先だと考える。この3つで決を採ってはどうか。

**【平井達夫会長】**

私から質問がある。1、2番の小学校の統合については現状と課題を確認し、跡地活用（案）の検討という研修内容の案が出ているが、先程話があったように、具体的には各小学校を回って話を聞くということである。地域協議会では、これまで4年間かけて各校区で4、5回意見交換を行い、各校区の現状を確認しながら3校統合で意見書を提出した。今回の研修では、住民ではなく、先生方と意見交換をしたいということか。

**【古海誠一委員】**

先生の意見を聞くことも大事だが、一番の目的は学校環境がどうなっているか、どのような教室が空きとなるのかを見てくることである。教育委員会から説明があったように、統合の問題についてはすでに次のステップに進んでいる。地域協議会委員としても意見が言えるよう勉強してきたいと考えている。

**【北折佳司委員】**

針小学校以外の小学校での統合の可能性があれば賛成だが、現状では難しいという

ことなので、全員ですべての学校環境を見て回る必要はないのではないか。

**【長藤豊委員】**

小学校の統合に関しては、市に意見書を提出した後は教育委員会主導のもと話し合いに参加するという形で進めてきたと思っている。そのため、ここにきて改めて各小学校を訪れて話を聞くのはおかしいと感じる。

**【福崎幸一委員】**

様々な意見が出ているため、8番までのすべての意見で決をとってはどうか。

**【平井達夫会長】**

紙に書いての投票ではなく、挙手でよいか。

**【福崎幸一委員】**

方法はお任せする。

**【古海誠一委員】**

通常会長・副会長は挙手に参加していないため、紙に書いての投票がよい。

(賛成の声多数)

**【平井達夫会長】**

事務局は投票用紙の準備をお願いします。

**【北折佳司委員】**

1回の投票で決定するか、それとも1回目の投票で上位2つか3つに絞り、2回目の投票で最終的に決定するか。

**【古川政繁委員】**

1回の投票で決定するのが良いのではないか。

(賛成の声多数)

**【平井達夫会長】**

それでは、1回の投票で決定することとする。投票は無記名で、番号だけ書いてもらえばよい。

**【徳永妙子委員】**

1つ質問がある。2番の小学校の統合については、視察で誰に話を聞くことを想定しているのか。

**【古海誠一委員】**

妙高市の教育委員会である。

(投票用紙の記入、回収)

**【山崎次長】**

開票にあたり、委員の中から1人、立ち合いをお願いしたい。

(小林良一副会長の立会いのもとで開票)

投票結果のみ報告する。第1位が6番の災害復興とまちづくりで6票、第2位が1番の小学校の統合で4票である。

**【平井達夫会長】**

それでは、6番の災害復興とまちづくりについて、糸魚川市で視察研修を行うこととする。視察時期はどうか。

**【小林良一副会長】**

農業をやっている委員もいるので、昨年どおり10月中旬から下旬としてはどうか。

**【徳永妙子委員】**

仕事の都合で、可能であれば五・十日を外してもらいたい。

**【平井達夫会長】**

その他、質問・意見等がある委員は挙手を求める。

(意見なし)

無いようなので、今の意見を踏まえ、視察時期については事務局に一任することとしてよいか。

(賛成の声多数)

**【山崎次長】**

確認だが、視察テーマは6番の災害復興とまちづくりについて、視察先は糸魚川市、視察時期は10月中旬から下旬で五・十日を外すということによいか。

**【平井達夫会長】**

そのとおりである。

**【山崎次長】**

具体的な日にちが決まったら案として地域協議会に提出するので、協議をお願いしたい。

**【平井達夫会長】**

了解した。(2) 地域協議会委員視察研修については以上とする。

次に、(3) 地域活動支援事業の審査についてに移る。

**【嘉鳥総務・地域振興G長】**

審査に移る前に協議をお願いしたいことがある。本日欠席の島田正美委員はヒアリングに参加していないため、ヒアリング後の採点表がない状態である。そのため、島田正美委員は、今回の採点から外すこととしてよいかどうか、協議をお願いしたい。

**【平井達夫会長】**

欠席の島田正美委員を採点から外し、13人での採点及び審査としてよいか。

(賛成の声多数)

それでは、本日の採点及び審査については島田正美委員を外した13人で行うこととする。

次に、採点結果について、事務局からの説明を求める。

**【嘉鳥総務・地域振興G長】**

それでは、採点結果について報告する。前回同様、各委員の採点結果を合計し、採点者の数13人で割った点数の小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの表記とした。結果は、公益性が3.9点、必要性が3.9点、実現性が3.6点、参加性が3.7点、発展性が3.5点、合計18.6点である。また、採択方針との整合については、優先して採択すべき事業が11人、その他の事業が2人、採択すべきでない事業が0人、合計13人である。その他の事業を選んだ理由は、「物品の購入のため」、「必ずしも必要とされていない。過去に貸出しがない。」ということである。

**【平井達夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見等がある委員は挙手を求める。

**【徳永妙子委員】**

質問はない。

(賛成の声多数)

**【平井達夫会長】**

無いようなので、提案事業の審査に移る。まず、優先して採択すべき事業、その他の事業、採択すべきでない事業について協議する。ただいま事務局から報告があったとおり、採点の結果、優先して採択すべき事業が11人で過半数以上に達している。



また、各項目の平均点の合計も10点を超えている。そのため、地域の一体感形成事業を優先して採択すべき事業とし、今年度の板倉区配分残額17万3千円の範囲で、事業費の内訳を精査して適正な助成額を決めることとしてよいか。

(賛成の声多数)

それでは、これから審査を始める。地域の一体感形成事業について、意見のある委員は挙手を求める。私が指名した後、発言をお願いする。

**【北折佳司委員】**

普段から板倉まちづくり振興会にお世話になっており、採択された場合ははんてんの貸出しが今から楽しみである。ただ、クリーニング代が高いので、クリーニングして返却になる場合は貸出料を安くしてもらえないか。

**【平井達夫会長】**

一般的に考えて、借りたものは洗濯またはクリーニングして返すのが当たり前である。そのように考えてもらいたい。クリーニングが予算的に難しいのであれば、自宅で洗濯してアイロンをかけてはどうか。

**【上野きみえ委員】**

私も以前はんてんを借りたことがあり、自宅で洗濯してアイロンをかけて返却した。

**【北折佳司委員】**

了解した。

**【平井達夫会長】**

他に意見がある委員は挙手を求める。

(意見なし)

無いようなので、地域の一体感形成事業の助成金額は補助金希望額どおり17万3千円としてよいか。

(賛成の声多数)

それでは、地域の一体感形成事業の助成金額は17万3千円とする。配分残額17万3千円との差額は0円である。

次に、ただいまの審査結果を平成30年度地域活動支援事業の審査結果として、市に報告することとしてよいか。

(賛成の声多数)

審査結果については、文書で米持総合事務所長宛に報告することになっている。作成と報告については私と副会長に一任してもらってよいか。

(賛成の声多数)

それでは、そのように進める。(3) 地域活動支援事業の審査については以上とする。

次に、(4) その他に移る。事務局から協議事項はあるか。

**【嘉鳥総務・地域振興G長】**

ない。

**【平井達夫会長】**

委員から協議事項はないか。

(なし)

無いようなので、(4) その他は以上とする。

次に、5 その他に移る。事務局から報告事項はあるか。

**【嘉鳥総務・地域振興G長】**

板倉区の小学校の統合について、前回の地域協議会での教育委員会の報告内容が上越タイムス及び新潟日報に掲載されたので、参考として配布した。

また、地域活動支援事業の目的・効果に照らした検証・検討等について、前回に引き続き地域協議会終了後に意見交換を行うので、協力をお願いする。

**【石川教育・文化G長】**

板倉区の小学校の統合に向けた説明会についてお知らせする。教育委員会では現在、各小学校及び保育園の保護者のみを対象とした説明会を計画している。現在、各小学校を通じて、8月末までに開催できるよう日程調整を行っている。教育委員会では、地域協議会から要望があれば、保護者説明会の内容について、後日地域協議会に報告に来ることとしている。

次に、上越市板倉北部運動公園の一部貸付について報告する。公園内のテニスコートの人工芝、フェンス、照明を整備し、クラブハウスを設置する工事を6月20日(水)に完了し、7月8日(日)に正式にオープンした。現在テニススクールを実施している。

**【平井達夫会長】**

他に、委員から何かあるか。

(なし)

無いようなので、次回の地域協議会の日程について協議する。取り急ぎ審議しなくてはならない事項が無いようなので、8月は地域協議会を開催しないこととし、教育委員会の保護者への説明が終了した後に地域協議会に報告に来てもらうこととしてよいか。

(賛成の声多数)

それでは、そのように進める。以上で予定した議題を終了する。

- ・会議録の確認を新井清三委員に依頼

【小林良一副会長】

- ・挨拶

【山崎次長】

- ・地域協議会の閉会を宣言

## 9 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141 (内線 123)

E-mail : [itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。